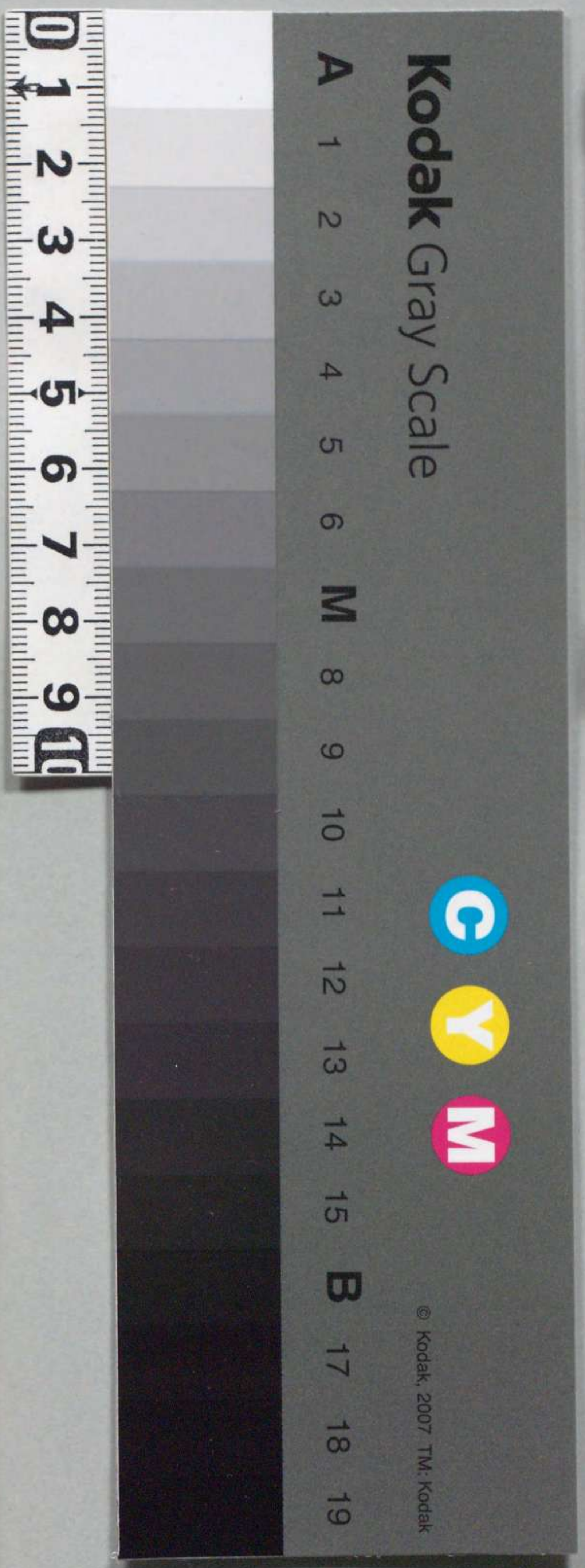
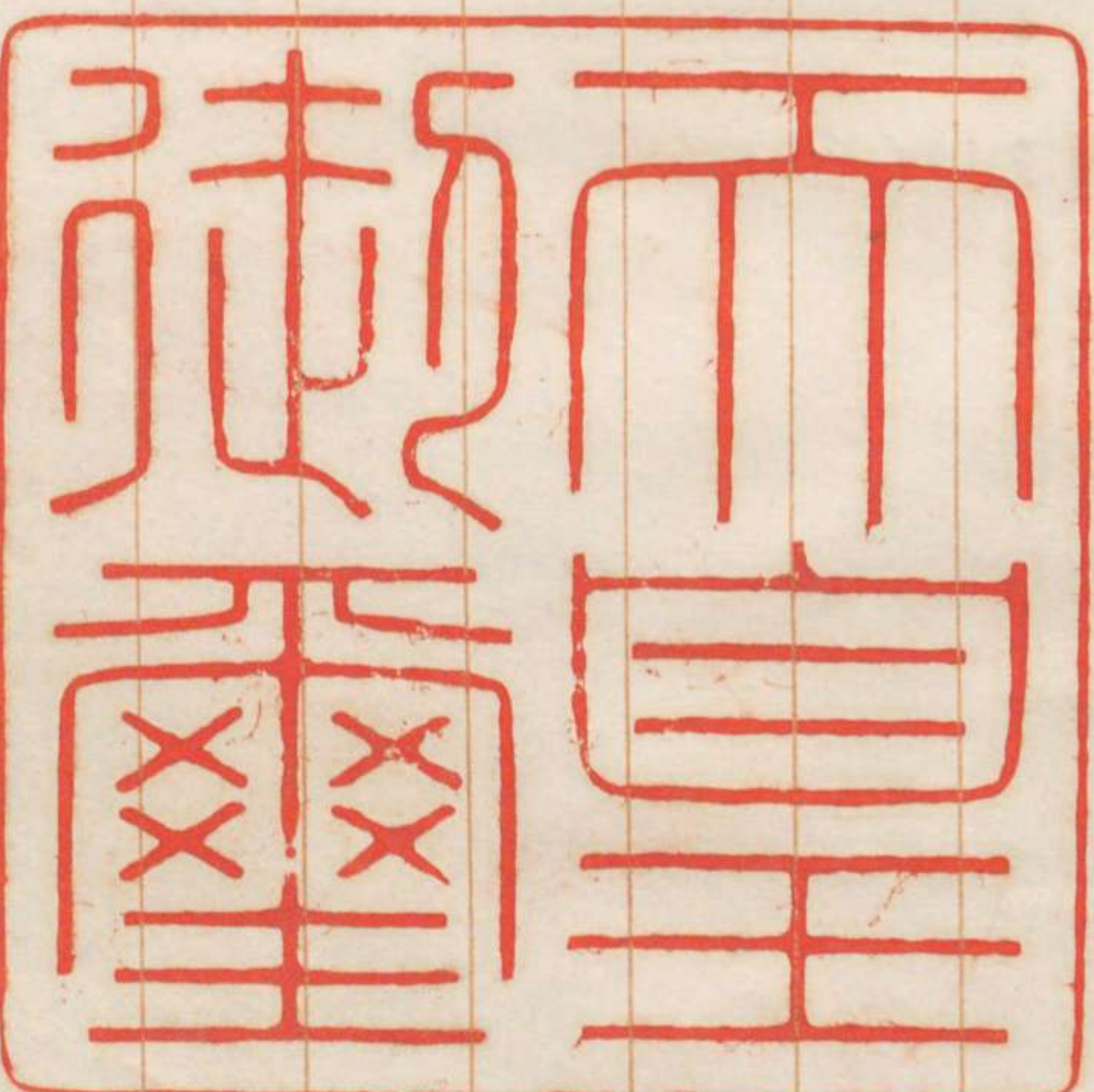


勅令第七十号



朕陸軍各兵科豫備後備下士補充條例ヲ
裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

睦仁



明治二十二年五月二十一日

白

月

内閣總理大臣伯爵黒田清隆
陸軍大臣伯爵大山巖

勅令第七十號

陸軍各兵科豫備後備下士補充條例

第一條

陸軍各兵科

憲兵科屯田兵科以兵科之屯田兵科憲兵科屯田兵科憲兵科屯田兵

豫備下士ノ補充ハ左ニ掲クル者ヲ以テス

第一 豫備役上等兵中下士適任證

書ヲ所持スル者

第二 現役免除ノ際下士ニ任セラ

レタル者

第三 服役七箇年ニ滿タスシテ現

役ヲ退キタル下士

第二條 各大隊長ハ多數ノ豫備下士ヲ

養成スルヲ以テ責任トス故ニ毎年各

大隊ニ於テ尠クモ上等兵六名騎兵砲

一名輜重ヲ下士ニ任シ或ハ下士適任

證書ヲ附與シ除隊スルモノトス

第三條 第二條ノ下士ニ任ス可キ者ハ

上等兵中技能優等ニシテ且品行方正

ナル者ニ限ル

其當選者ハ聯隊長獨立大隊ニ在テ做ハ

ヨリ近衛

團長歩兵ハ旅團

ニ具状シテハ二等軍曹ニ任ス

第四條 陸軍各本後備下士ノ補充ハ

左ニ掲クル者テス

第一 後備役者等兵中下士適任證

書ヲ所持スル者

第二 豫備役者終リ後備役ニ轉入

スル下士

第三 服役七箇年以上十二箇年ニ

滿タスシテ現役ヲ退キタル下士



役ヲ退キタル下士

第二條 各大隊長ハ多數ノ豫備下士ヲ

養成スルヲ以テ責任トス故ニ毎年各

大隊ニ於テ少クモ上等兵六名騎兵砲兵

一名輜重ヲ下士任シ或ハ下士適任

證書ヲ附與シ得ルモノトス

第三條 第二條 下士ニ任ス可キ者ハ

上等兵中技能者ニシテ且品行方正

ナル者ニ限

其當選者

大隊長以下ニ在テ做ハ



ヨリ近衛都督又ハ師團長歩兵ハ旅團

ニ具状シ認可ヲ請ケ二等軍曹ニ任ス

第四條 陸軍各兵科後備下士ノ補充ハ

左ニ掲クル者ヲ以テス

第一 後備役上等兵中下士適任證

書ヲ所持スル者

第二 豫備役ヲ終リ後備役ニ轉入

スル下士

第三 服役七箇年以上十二箇年ニ

滿タスシテ現役ヲ退キタル下士

第五條 第一條第一及第四條第一ノ上等兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ下士ノ缺員ニ應シ聯隊長之ヲ二等軍曹ニ任ス

第六條 豫備後備下士ハ任官後現役下士ノ進級停年ニ等シキ年數ヲ超ユルトキハ特ニ進級ノ為メニスル勤務演習ニ於テ實地ノ技能ヲ査閲シ進級セシムルコトヲ得其方法ハ別ニ定ムル所ニ依ル

第七條 豫備後備ノ下士及下士適任證書ヲ所持スル上等兵ハ志願ニ由リ服役期限ヲ延スコトヲ得

第八條 禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ監視ニ付セラレ又ハ逃亡若クハ失踪シタル者其刑期中及逃亡失踪中ノ日數ハ服役年期ニ算入セス

附則

第九條 豫備後備下士ハ當分豫備後備役兵卒中上等兵ニアラスシテ下士適

任證書ヲ所持スル者ヨリ補充スルコ
トアル可シ

第十條 後備軍軀員満期ノ際志願ニ由
リ服役延期中ノ者ハ其期限満ツル迄
後備役ニ服セシム

内
閣